

東通村と都市部との交流事業 ～東京都北区立浮間中学校職場体験～

7月4日(火)～6日(木)の3日間にわたり、東京都北区浮間中学校(松本洋人校長)2年生の生徒8名(男子4名、女子4名)が、東通村で第一次産業に携わる職場体験学習を行いました。

この職場体験学習は、東通★東風(やませ)塾(山崎孝悦塾長)が主体となり「東通村と都市部との交流事業」を始めてから、今年で4回目を迎えました。

普段都会で生活する生徒たちにとって、野菜を育てて収穫したり、魚介類などを加工する体験はほとんどありませんので、人々の生活を支えるために日々働く第一次産業の体験やホームステイを通じて、東通村の自然・文化・産業等について理解を深めるとともに、勤労・職業観の育成を図り、自らの進路選択に必要な社会性、コミュニケーション能力、思いやり等の道徳性を養う機会を与えたいという浮間中学校の強い思いがあります。

また、東通村にとっても、豊富な資源や自然のすばらしさを都会にPRできる絶好の機会でもあり東通村で体験し、肌で感じたことを都市部の人に伝えてもらえればと思います。

今年の職場体験学習は、山崎農園(目名)、中西農園(大利)、村田農園(上田屋)、あべらべりー苑(上田屋)、野牛漁業協同組合、尻屋漁業協同組合、東通村産業振興公社の7ヶ所で行われました。

生徒たちは2日間にわたり、それぞれ農業、水産業、畜産業で汗を流し、貴重な体験をしました。3日目の最終日は、東通村交流センターで「故郷の未来を考える」と題して、東通★東風塾の氣仙修副塾長の講演を受けたあと、尻屋漁港から漁船に乗り込み、海上から尻屋崎ジオサイトの岸壁を眺め、最後は尻屋埼灯台を見学しました。

昼食は、東通牛の牛スジ煮込みと野牛産の外ホタテが入った「東通まるごとカレー」を堪能し、最後に、東通★東風塾の氣仙修副塾長から修了証書を受け取り、職場体験学習は終了。参加した生徒は働くことの楽しさや苦勞、そして出会いを通じて、成長した姿で帰京して行きました。

